



# 聖日礼拝プログラム

今週のみことば

司会者	北村正昭兄	奏楽者	渡邊頼子師		
讃美	新 36	われと主の間に	—	同	
主の祈り					
讃美	新 251	主イエスの御側に	—	同	
交読	詩 篇	112 : 1 ~ 10	—	同	
祈	禱		司	会	者
報	告		司	会	者
聖	書	ルカ 10 : 38 ~ 42	司	会	者
説	教	『みことばに聞く』	渡邊貞雄師		
献	金	新 247	神の賜う安けさは	佐々木幸子姉	
頌	栄	新 63	父、御子、御霊の	(起立) 一同	
祝	禱			渡邊貞雄師	

「しかし、必要なことは一つだけです。マリアはその良いほうを選びました。それが彼女から取り上げられることはありません。」  
ルカ 一〇・四二

受 = 中川 姉 / 操 = 真理 姉 / A = 北村 姉 / 報 = 牧 師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会  
 TEL 0598 (29) 1780 主任 牧師 渡邊 貞雄  
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊 頼子



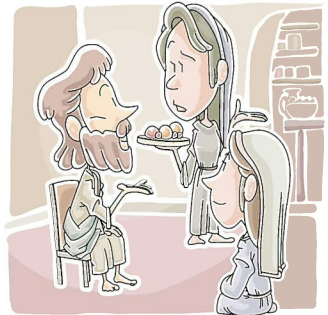
2023年10月22日 VOL47-43 No. 2451

URL <http://matukyo.com/>  
 Email [sadao@mctv.ne.jp](mailto:sadao@mctv.ne.jp)

## ご報告・消息欄

- ▼ 本日午後は、COG中部教区「じわり壮年会」(13:30-14:30)がZOOMで持たれます。参加者の交わりが祝福されますように。
- ▼ 只今、新規メーリング「らくらく連絡網+」への切り替え(移行)作業中です。11月初めのスタートを目標としています。ご協力をよろしく。
- ▼ 来週29日(日)も組会がなく礼拝からとなります。礼拝用テキストは資料としてお持ち帰りください。

- ▼ グアダハラ教会(メキシコ)の阿部宣教師は、17日~11/3日まで帰国巡回奉仕中です。お祈りを!
- ▼ 11月5日(日)は、COG川崎教会の古波津先生ご夫妻をお迎えします。お祈り下さい。



# にれ はみ

2023年10月15日  
聖日礼拝  
ルカ10:25~37  
『良きサマリア人』  
説教 渡邊貞雄師



ここは「良きサマリア人」のたとえとして、親しみのある箇所です。

## I、「先生」と呼んだ先生

この律法の専門家（学者）は、自分も先生と呼ばれる立場なのに、主イエスに向かって「先生」と声を挙げ質問した（25）。彼自身、多くを学び尊敬される立場にあったにもかかわらずに。私たちは沈黙は美徳のように思うが、向上心を豊かにもって熱心に質問し成長する者でありたいと願う。

しかしこの専門家は、そのような純粋な心で尋ねたのではなかった。「イエスを試そうとして」（25）とあり、さらに「自分が正しいことを示そうとして」（29）とあるからです。世間を騒がす主イエス、若造の鼻を明かしてやれとの心からでした。恥をかかせよとの毒舌の心があったのです。

## II、「たまたま」起きた

ここに「たまたま」（31）とある。つまり偶然に、思いもよらぬ時、予期せぬ状況の中でこの三人は、「ある人」の大怪我の側を通ったのでした。神様を知らないなら、人生は「たまたま」の連続と言えなくもありません。

そして「たまたま」自分に起こった

ことにより、自分の真価が試されたのでした。祭司とレビには急ぐ理由があったにせよ、怪我人を見ていながら反対側を去って行った確信犯で（31、32）、人前で立派なことを語る人の現実の姿でした。

## III、「あなたも行って」

主イエスはこの学者に「あなたも行って」（37）と語りました。「言って」ではなく、「行って」実践することを勧めた。

今日、登場する人々にはイタミの心があったと言えるでしょう。「強盗」は自分の良心にイタミを、「ある人」は大怪我で肉体にもイタミを、「サマリア人」は民族的差別のイタミを、「レビ人」と「律法の専門家」も、自らの心の乏しさにイタミを自覚していたことでしょう。主イエスは「あなた『も』行って」（37）と語られた。私も一緒に行くので一緒にしようとのお誘いです。

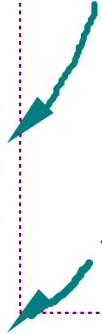
サマリア人は「かわいそう」（33）の同情心で溢れた。主もエルサレムを見て「ああエルサレム…」と涙された。私たちも「行って」主の声を聞き、手を差し出す者とならせていただこう。



JCE7 (第7回日本伝道会議)  
参加者有志  
(於：春日井栄光教会)

COGパイオニア伝道  
(2023年協力伝道)  
9/6~11  
(於：石川県・津幡教会)

ましがいがしがし  
(7つあるよ!)



- 本日午後 COG 中部「じわり壮年会」
- 時 間 13:30 - 14:30

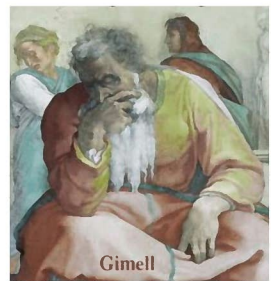
◎10/18 (水) 祈禱会 哀歌2:19  
渡邊師「夜も起きて叫べとは」

先日の夜、目覚めて「夜の初更に起きいでて呼び叫べ…汝の心を水のごとく注げ…」(文語)とのみことばが心に響いた。神はエレミヤに、弱者(幼児)のために両手(もろて)をあげて祈れと語られた。

私たちの夜とは、一日の疲れを覚え、明日に備えて健康のために眠るのが普通である。しかし、神はエレミヤに起きて

目に川のように涙を流し、風前の灯の魂のために祈るようにと語られた。

現在、ウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナも同様の状態にある。この惨状を私たちも忘れず、祈りの手を挙げる者とさせていよう。



## 「今後の集会予定／教会情報」

◎10/25(水) 禰絵 (ZOOM) (PM7:00)

◎10/28(土) 清掃奉仕 (AM9:30)

◎~~10/29(日) 楽しい組会 (AM10:00)~~

◎10/29(日) 聖日礼拝 (AM11:00)

◆ 祈禱会 (司) 真理姉 (説) 頼子師

● 来週礼拝 ルカ 18 : 1 ~ 8

● 主 題 『あきらめない祈り』

## 定期集会のご案内

◇ 楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45

◇ 聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00

◇ 早天祈禱会 (火土) 朝6:30~7:00

◇ 祈禱会 (水) 午後7:00~8:15

## 来週 の 奉 仕 者

◎ 礼拝司会 中西兄

◎ 礼拝奏楽 頼子師

◎ 礼拝献金 小坂姉

◎ 受 付 岡山姉

▽ 教会学校 随 時

▽ ヤ ン グ 随 時

▽ さー来る① 当 日

▽ さー来る② 当 日

▽ さー来る③ 当 日

▽ 昼食当番 な し

▽ アッシャー 幸子姉

▽ S S 入力 中川姉

▽ PPT操作 中川姉

《《《 2023年 松阪教会スローガン「乗り越える！」(+) (プラス) 》》》  
「ヨセフは実を結ぶ若枝…その枝は垣を越える」(創49・22)

## 礼拝の心得

- ① 聖書のヨハネ4:24に「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」とあります。
- ② 始まる時間と5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。
- ③ 賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④ 語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。
- ⑤ 献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心から喜んでおささげしましょう。
- ⑥ その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦ やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。



余裕がない時に  
締めつけるから、  
更に苦しくなるんだよ。  
忙しい時こそ  
心に遊ぶとき  
時間にとりま。

